

## 仙台市議会活動報告

# くろまつ

発行人

仙台市議会議員(若林区)  
相沢 和紀  
(社民党仙台市議団所属)

〔事務所〕

仙台市若林区上飯田2丁目3-63  
TEL(兼FAX)022-781-0650

〔HPアドレス〕

<http://aizawa-k-sigi.net/>

## 平和と生活者優先の社会へ

忌まわしい東日本大震災から5回目の春が訪れました。仙台市は、震災復興計画期間を5年と定め、全力で復旧・復興に取り組んできました。そして最終年に入りました。復興公営住宅の建設は若干の遅れはあるものの3,200世帯の入居が決定しています。また防災集団移転地の造成も全ての団地が完成し、いよいよ生活再建・住宅再建が始まります。しかし、被災者の中には未だ希望を見い出せない方もあり、引き続き支援を求めています。

昨年末の衆院選で勝利した安倍総理は国民の意見を聞かず、暴虐武人の振る舞いをしています。沖縄県辺野古への新基地建設、原子力発電所の再稼働、さらに安全保障法制の抜本的な見直し・変更など、数え上げれば切がないほどです。特に平和憲法の解釈を意図的にねじ曲げ、『集団的自衛権の行使』を実行しようとしています。これは米国と一体となった戦争行為を可とするものであり、断じて許すことは出来ません。安倍総理は“国家の安全”を強調していますが、国民一人ひとりの安全でないのは明らかです。



最大の問題は、勤労国民の生活は厳しさを増していることです。“円安”により輸入原材料や食料品が軒並み値上がりしています。大手企業を中心にベアが実施されますが、物価上昇には程遠いものですし、中小そして地場産業ではまだまだ景気回復の実感はありません。加えて2017年4月には消費税が10%に引き上がります。なんとしてもこれら危険な策動を止めなければなりませんし、生活者中心の政治に転換させなければなりません。

今年は統一自治体選の年です。仙台市議選は、先の大震災で日程がずれ、8月2日投開票という日程が決定しました。今後とも、地域の課題解決や仙台市政の飛躍に向けて全力で頑張る決意です。

### これからの主な日程

- 4月11日(土)
  - ・佐高信政治塾①(谷口真由美氏)
- 4月17日(金)
  - ・市農業委通常総会
- 4月21日(火)
  - ・市民教育常任委員会
- 4月23日(木)
  - ・歩行喫煙防止条例説明会  
(15:00~エルパーク仙台)
- 4月24日(金)
  - ・エネルギー政策調査特別委員会
- 4月27日(月)
  - ・国民健康保険制度学習会
- 5月1日(金)
  - ・第86回メーデー宮城県大会
- 5月3日(日)
  - ・護憲平和センター総会
  - ・5・3憲法を活かす宮城県集会  
(いずれも仙台国際センター)
- 5月21日(木)
  - ・市民教育常任委員会
- 6月11日(木)
  - ・第2回定例会 (~26日)

### ミズのささやき

◆大震災から4年が過ぎた。復興公営住宅や防災集団移転事業、更に産業の再生も進んでいる。しかし高上げ道路の整備などは緒に就いたばかりだし、販売ルートの再構築も厳しい状況であり、多くの事業はさらに時間と財源を要する。◆選挙では「復興なくして日本の再生はない」と声高に訴えたが、舌の根も乾かぬうちに「復興事業費の一部を自治体に負担を求めると復興大臣が発言。◆東京オリンピック、特にスタジアムや道路などハードの整備にシフトは明らか。自民党への政治献金リストを見ると納得！するしかないのか。



予算委質問



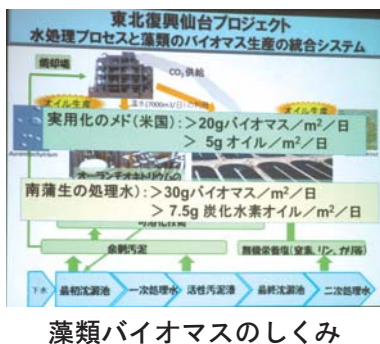
第1回定例会（2月4日～3月6日）は、2015年一般会計予算（案）をはじめとする新年度予算や条例改正案件や教育長の人事案件と議員提案2件の108議案を可決しました。

相沢議員は、本会議では質問に立たなかったものの、予算特別委では総務費、土木費、そして高速鉄道会計について質疑を行いました。特に土木費では整備が始まっている嵩上げ道路の整備手法や避難の丘の整備位置などについて先の被災状況や現地の地勢を基に、被害の低減やより安全な整備策を講じるよう質しました。（質疑の要点のみを整理して記載しました。）

藻類バイオマスの積極的な取り組みを

相沢 昨年、市長は「エネルギー自律型都市」を目指すことを表明した。私も再生可能エネルギーの普及・拡大が急務と考える。本市は東北大、筑波大と共同で藻から油を作り出す「藻類バイオマス」の研究を南蒲生浄化センターでスタートさせている。しかし、実験室段階であり一層の取り組み強化が求められる。処理水や汚泥を利用することから処理費用の軽減にも繋がる「一石二鳥」の事業であり、文科省の補助だけに頼るのではなく、本市もこれまで以上の関わりを、財源的な支援も行うべきと考えるが、今後の対応を伺う。

市長 先の震災で深刻なエネルギー問題を経験した本市として、特定のエネルギーに過度に依存することなくエネルギー効率の高いまちづくりを進めていく。新年度では藻類バイオマスの研究を大学と共に進



■ 予算等審査特別委員会（総務費、土木費、高速鉄道会計）

東部地区復興事業課題の解決を求める

めていくと共に、クリーンで安定的なエネルギーを創出するため民間事業への助成制度なども創設して取り組みを強める。「エネルギー自律型都市」を目指して一層の取り組みを行っていく決意です。

相沢 先の衆議院議員選挙と最高裁判官の国民審査に関わる開票事務において、青葉区選管での不正が発覚した。開票時間の短縮競争も背景にあるにしても、公正で厳正な選挙を実施するとの覚悟は薄らいでいると感じる。「『持ち帰り票』を一切出さない!」という構えとその為の事務作業等の見直しが必要と考える。（アルバイトや立会人への作業シミュレーションや選挙人への周知策など具体の改善案を示す）

市選管 これまでの対応の総括と今後の決意を伺う。種々の指摘を真摯に受け止める。現在、第三者委員会において議論されているところであるが、指摘の職員配置や作業シミュレーション的手法の活用、更に立会人への役割周知や選挙人に対する注意喚起の掲示による周知なども検討する。公正で厳正な選挙は民主主義の根幹であり、市・区選管として再発防止を含めしっかりと対応できるように努めたい。

嵩上げ道路の強靱化と遡上低減の方策を

相沢 新年度は県道塩釜渡線の嵩上げ工事が本格化する。しかし、その構造は単なる“盛土”工法であり、3・11と同等の津波が来た場合は仙台東部道路より強い力が道路法面にかかる。少なくとも高さ2m程度はコンクリートの擁壁またはブロック積みにすべきである。また、新たに作成された国交省の津波シミュレーションでも海岸防潮堤を超えた津波は嵩上げ道路とほぼ同じ6mに達する。当然に井土浦川や二郷排水路など太い河川を遡上することとなる。現計画では西側に対して何らの対策が講じられていない。

建設局 “浸水区域”への住宅建設は[可]とされているが、大きな不安が出ている。河川遡上に対する低減方策等、どのように対処するのか伺う。

建設局 法面の構造については国交省の基準に沿って設計している。勾配なども緩やかに芝を張ることにより粘り強くなり対応できると判断している。また、河川の遡上に関してはまだその対策がまとまっていない。ゲートを設置する等の対策を考えていく。

「避難の丘」の整備案を再考すべき

相沢 海岸公園の復旧はガレキ処理のため時間を要したが、災害査定も行われ工事に着手している。4か所に避難の丘が計画されている。南蒲生等は野球などスポーツを行う公園の中に作られるが、ネイチャーゾーンとして整備される藤塚地区の整備は海に近いところであり、津波に向かっていくような位置となっている。旧藤塚地区の住民が五柱神社の再建を行う。出来ればこの神社と一体なる場所に整備するよう強く求める。また、新たに出来た干潟を含め井土浦の動植物の観察にも活用できる高台となりうる場所に変更すべきだ。現計画の“市有地”への整備は無駄になると考えるが、いかがか。

建設局 津波対策として関係機関との協議を行ってきた中で計画案としてまとめ上げた。指摘の点はあるものの、この地域で活動され

る方には避難の丘に避難していただくようなサイン（案内看板）などを設置する。また、藤塚排水路には橋を架ける計画である。

相沢 6メートルの嵩上げ道路がすぐそこにあるので、逆方向の避難の丘に避難することは考えにくい。地域の声として、改めて問題点を強く指摘し、再考を求める。

東西線の収支見込みと建設基金の今後

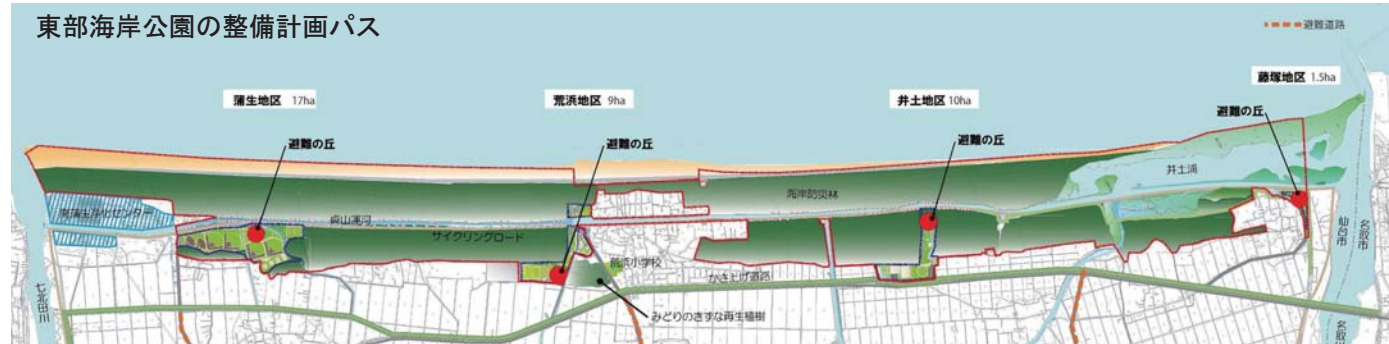
相沢 地下鉄東西線は12月6日に開業する。改めて工事関係者の努力に感謝する。当初の建設見込みは2,735億円であったが、震災後の工事入札は平均で86%であったが、震災後は労務単価や資材等も高騰しており、最終的にどの程度の費用となるのか伺う。

交通局 震災後の2012年に再評価し、事業費総額を2,298億円とした。その後、資材などの上昇もあるが先の額に近い額で工事を終わることが出来ると考えている。

相沢 地下鉄建設の費用は国からの建設補助金、市からの補助・出資、そして交通局の負担（借入金）で賄われるが、交通事業として借入金は最終的にどれほどになるのか伺う。また、東西線の単年度黒字化はいつごろとみているのか伺う。更に高速鉄道建設基金は13年度決算で514億円強という大きな額となっているが、今後の見通しについて伺う。

交通局 現時点での借入金は736億円であるが、今後も改良工事なども出てくることから予定していた740億円程と考えている。単年度の黒字化は開業10年目の2024年と考えている。

財政局 借入金の返済も含め、建設基金からの対応も考えなければならないことから当分はこのままの水準で対応していく。



# 平成27年度 若林区内の主要事業

- 1. 区民協働まちづくり（区予算）**
**23,266千円**

区民との協働により、地域の課題解決や活性化などにつながる事業を企画・実施する。また、市民団体が行うまちづくり活動に対して、公募により助成を行う。

【主な事業】

  - ・若林区区民ふるさとまつり（まちづくり推進課）
  - ・まちづくり活動助成事業（まちづくり推進課）
  - ・東西線開業イベント（まちづくり推進課等）
  - ・若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業（区民生活課）
  - ・学校と連携したまちづくり市民会議（中央市民センター）
  - ・子育て推進ネットワーク事業（家庭健康課）


- 2. コミュニティ・センター整備（区予算）**
**367,325千円**

東六郷コミュニティ・センターの改築工事及び七郷六丁目コミュニティ・センターの大規模修繕設計を行う。
- 3. 区中央市民センター別棟、(仮称)子育てふれあいプラザ若林、区中央児童館改築実施設計**
**359,908千円**

※施設は一体で整備されます。場所は建設所の東側駐車場の所です。
- 4. 東部復興道路整備**
**[市全体] 4,800,211千円**

防災集団移転促進事業など一体となって、既存集落の安全性の向上や集団移転先の確保、安全な経済活動を可能とするため、拠点間を結ぶ主要な幹線道路である県道塩釜亘理線などの道路について、津波たい積土砂などを活用しながらかさ上げを行う。平成27年度については、工事を本格化し、線路全体において盛土工事等を実施する。
- 5. 津波避難施設整備**
**[市全体] 2,148,034千円**

住民説明会や有識者委員会での意見等を踏まえ策定した「津波避難施設の整備に関する基本的考え方」等をもとに、「津波から命を守る」ための避難施設を新たに整備する。平成27年度については、設計、敷地の造成等が完了したところから工事に着手する。

笹屋敷、三本塚長屋敷、三本塚権太、井土、二木、種次（若林区内）
- 6. 復興公営住宅建設**
**[市全体] 21,294,466千円**

震災により住宅を失った被災者が低廉な家賃で入居できる復興公営住宅について、コミュニティの維持や福祉・環境の面にも配慮しつつ建設する。

（仮称）荒井南[75戸]、（仮称）荒井南第二 [55戸]、（仮称）卸町 [98戸] 他
- 7. 海岸公園再生整備**
**[市全体] 4,440,802千円**

復興のシンボルにふさわしい公園として、来園者がより安全で快適に利用できるよう、施設の復旧を進めるとともに、避難の丘をはじめとした防災機能を追加するなど、防災の視点や自然環境に配慮しながら再整備を行う。

荒浜地区、井土地区、藤塚地区（若林区内）
- 8. 震災復興メモリアル事業**
**[市全体] 95,327千円**

震災復興メモリアルプロジェクトの推進に当たり、アーカイブ・情報発信のための拠点施設について、機能の具体化を進める。先行して荒井駅駅舎上部空間を沿岸部のメモリアル拠点施設として整備を行う。また、中野、荒浜、藤塚地区について、地域の方々と意見交換を行いながら地域モニュメントの整備を行う。あわせて、荒浜地区については、荒浜小学校校舎と周辺の住宅基礎群の遺構保存に向けた検討を進める。
- 9. 地下鉄東西線に関する自転車等駐車場整備**
**[市全体] 594,043千円**

平成27年度開業予定の地下鉄東西線の整備に併せて、各駅直近に駐車場を整備する。

連坊駅、薬師堂駅、卸町駅、六丁目の目駅、荒井駅（若林区内）
- 10. 荒井地区土地区画整理事業**
**890,679千円**

道路・公園等の公共施設の改善と市街地環境の整備を行い、健全かつ機能的な市街地形成と宅地の利用造船を図る。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
地域課題やまちづくりの声を聴きました
◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

3月29日「相沢和紀市議 市政報告会」を上飯田西集会所において開催しました。震災から丸4年、住まいを移した方を含め約100名の方に参加いただきました。



私からは、この4年間の議会質問の骨子、そしてこれに対応した市当局の対応、特に津波被害に関係した独自支援の制度やまちづくりの考え方について報告させていただきました。

懇談の場では、住宅建設に関係した要望や小学校統廃合後のまちづくりなどについて多くのご意見を頂きました。

今後とも、地域の声をしっかりと届けられるように頑張る決意です。

**仙台市議選の  
日程(8月2日)  
決まる**

4年前、東日本大震災により統一自治体選挙から離れ、8月の選挙となりました。この間、県議選との同日選挙（再統一）も模索されましたが、結果的には分離となりました。市選管は、**7月24日告示**、**8月2日投開票**という日程を確認しました。定数は、前回と同様5区全体で55議席、**若林区は7議席**を争うこととなります。